

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
2. 輸出入規制・関税・通関規制・物流						
1	日機輸	恣意的な関税賦課	・輸入貨物を取引先がナイジェリアで通関する際、貨物が免税品であるにもかかわらず、本来、徴収されるべきでない関税を課税しようとしたりすることが日常茶飯事であり、各税関で、税務署運営予算ではなく、関税徴収額の目標（予算）もうけているという噂があり、各税関が目標金額を設定していること自体が、問題であると認識している。	継続	・税関組織運営の改善。	
2	日機輸	通関手続の煩雑・遅延、恣意的要求	・通関手続きに時間を要するため安定的な原材料・部品の供給が困難であり、多くの原材料・部品在庫を保管する必要がある。また、コンテナ借料が多額となり輸送コストを押し上げている。	継続	・各種問題、手続類につきOne Stop Shopで聞き入れ、適正な管理が適うようにして頂きたい。	
3	日機輸	通関手続の煩雑・遅延、恣意的要求	・自動車(完成車)輸入において、輸入者から関税を徴収するために、当局の判断で申告価格を上乗せすることを求められ、長引く協議のため車を担保に置かれ、販売できない等の問題が発生している。	継続	・通関業務改善。	
4. 為替管理・金融						
1	日機輸	外貨不足による販売代金、配当金回収の困難	・日本からの輸出代金回収、現地で運営している現地法人の利益剰余金の回収について、ナイジェリアからの外貨送金において、外貨が絶対的に不足しており、輸出代金の回収では、L/C開設もままならない状況が続いている他、現地法人からの配当金受領についても、外貨の確保が難しく、配当金見合いの資金がナイジェリア国内に滞留、年々滞留金額が増えている。	継続	・外貨事情の改善。	
2	日機輸	外貨不足と割当、現地通貨安	・外貨不足により銀行で外貨の調達ができず市中で外貨を調達することが、必要になっている。市中調達レートと銀行調達レートの差異が大きく、概して外資企業に対して振られる銀行の外貨枠が少ないため、競争力を失うこととなっている。急激な現地通貨（ナイラ）安。	変更	・中央銀行による外貨枠の管理方針の明確化と平等性の担保。 ・最優先でビジネスできる程度へ為替の安定化、外貨枠の供給確保。	
7. 駐在員・出向者等に関する問題						
1	日機輸	入国審査での賄賂要求	・出入国時、空港で複数回の賄賂要求が有り。荷物検査も複数回を経る必要があり、その都度、執拗に金品提供を要求される。断れば最悪、長時間の待機を余儀なくされて飛行機の便に間に合わなくなると言ったりリスクと隣り合わせ。	変更	・取り締まりを強化して頂きたい。	
8. 知的財産制度運用						
1	日機輸	知的財産権保護の不十分	・現地適格規格SONCAPのライセンスを取得している商品保護の施行が不十分であり、流入商品やブランド商品の偽物の市場流通を招いている。	継続	・政府には該当官庁の権限を強化し、流入商品と偽物の削減に努めて欲しい。	
2	日機輸	税関の水際対策の不十分	・現地当局による摘発が行なわれ一定の効果は見られるものの、市場では模倣品が堂々と売られ、また大量の模倣品を保管・取引する模倣品業者が後を絶たない。これら模倣品の大部分は国内生産ではなく国外から輸入されたものであると考えられる。	継続	・税関登録制度の設置等、税関が水際で模倣品を差止める制度の導入や、模倣品の輸入差し止めの強化をして頂きたい。	
3	日機輸	模倣品対策制度の未整備	・ナイジェリア標準化機構（SON）の検査を受けていない規格外の粗悪で低品質な製品が安価に流通しており、品質を確保した製品の流通を阻害している。日本製品の模倣品が上市されており、日本企業の収益を圧迫している。	継続	・規格運用、模倣品管理の徹底。	
12. 政府調達						
1	日機輸	入札時の不透明・賄賂要求	・入札の際の透明性が欠けており、腐敗の温床になっている。官僚やエージェントの中には賄賂を前提とした契約を好む人たちがいる。	継続	・政府には案件入札の時に公正な方法を取り入れて欲しい。	
99. その他						

※経由団体：各個人の意見がどの団体を経由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
1	日機輸	治安の悪化	・国内北東地域での暴動、南方での石油泥棒、そして犯罪者や暴漢達による身代金目的の外国人誘拐と、ナイジェリア政府が日々奮闘している。	継続	・政府には個人の安全を第一に保証して欲しい。	